

## 平成24年度第3回しなの鉄道活性化協議会 議事概要

日時 平成25年 2月22日(金)

13時40分～15時30分

場所 上田市 上田駅前ビル「パレオ」

### 1 開 会

会議成立の報告（事務局）

委員26名中19名が出席。出席者が過半数を超えており会議が成立していることを報告。  
（協議会規約第6条第2項）

### 2 あいさつ（しなの鉄道活性化協議会会長）

本年度は総合連携計画に基づく計画事業実施の3年目にあたりますが、お陰様を持ちまして沿線自治体をはじめとする会員の皆様のご支援、ご協力のもと予定しておりました事業をほぼ計画通りに実施することができております。本日はこれまでの事業の実施状況についてご報告をさせていただくとともに、合わせて平成25年度に実施予定の事業概要案などにつきましてご協議をいただきたいと思いますと考えておりますのでよろしくお願い致します。

ところで、今年度の輸送人員は、これまでのところほぼ前年並みの水準で維持しております。このまま推移致しますと、私どもの目標としております年間1千万人以上は大変微妙ではございますが、是非とも目標といたします1千万人以上を確保できるよう、皆様のご協力を得て最後までがんばっていきたいと思っております。本日は皆様方からの忌憚のないご意見を是非とも拝聴したいということでございます。是非とも活発なご議論をお願い致しまして開会にあたりまして私からのあいさつと致します。本日はよろしくお願い致します。

### 3 協議事項（議長：会長 協議会規約第6条第1項）

#### （1）平成24年度計画事業の実施状況について（報告）

事務局から「資料1」を報告。

<議長>

24年度事業の実施状況ということでございます。まだ1ヶ月程残っておりますが、9割方実施し、ここまではほぼ順調に推移しているのではないかと思います。実証運行も今年度は国庫補助がなくなったという状況ではありましたが継続実施を行い、また後で説明があるかと思いますが来年度も継続していきたいと思

っています。実証運行の今年の状況は、他の線区に比べると小諸～軽井沢間が比較的利用率が高く、数値的には効果が出ている状況です。ただ、ある程度中長期的なスパンで評価する必要があると思いますので来年度も継続し、もう少し様子を見たいということでございます。

実施状況の中にもありましたが今後の方向として、できるだけ地域との連携といますか地域と一緒にになって色々なことをやっていきたい。私どもも従来から色々なことをやっておりますが、やはり事業者の努力だけでは限界があり、まさに地域の中を走るしなの鉄道として地域と一緒にになって色々やっていきたいと思っています。既に今年から、例えば北国街道をテーマにした数々のイベントも実際に実施しており、今後も実施していきたい。あるいは、駅というものを私どもの言葉で言いますと「まちのステーション」にしたい。単なる鉄道の乗降場としてだけではなく、例えば駅で地域の方々が交流をしたり活動をする。あるいはその駅に行くと地域の色々な情報が入手をできる場にならないかなど、そういうことを通じて少しでも電車に乗っていただくような環境づくりというものをこれからは特に目指していきたいということでございます。そういう意味では行政の方には是非とも駅を街づくりの一つの核として位置づけていただきたいと思います。

(2) ダイヤ改正後の軽井沢～小諸間増便運行について  
事務局から「資料2」を説明。

<議 長>

ただ今説明がありましたように、今回のダイヤ改正はポイントが2つございます。1つは当社としては初めて1編成2両の車両を購入するということでございます。それに伴い従来ワンマン区間ではなかった戸倉～長野間もワンマン化することで、初めて全線に渡ってワンマン化になるということでございます。もう1つは、3年間行いました軽井沢～小諸間の増便、あるいは接続改善の実証運行を引き続き新年度も実施をしたい、ということが今回のダイヤ改正のポイントであります。これについてご意見、ご質問がありましたらお願いしたいと思います。

先程も実証運行の関係をお話ししましたが、来年度上り7本、下り7本、合わせて14本の増便を継続して実施しますが、詳細に内容を見てみますと、時間帯によっては必ずしも乗車率が良いわけではございませんので、私どもとしては今後、内容をもう少し精査をしていく必要があると思います。ですから毎年実証運行ということでアンケートなども実施しておりますが、更にお客様観点からのシミュレーションをし、今の形でいくのかということは今後の課題として十分検討していきたいと思っておりますが、これらの点を含めていかがでしょうか。

(質疑・意見等)

ア 昨日の出張から夜、新幹線で帰ってきました、うまい具合にしなの鉄道に乗って中軽井沢まで乗りましたが、やはりそれがないとしなの鉄道を次まで待つという気にはならなかったのかなと個人的に思いました。また、利用者との話にも出ていますが、「やっぱり良かったよね」という声は聞いております。ですから、小諸市さん、御代田町さんと連携してずっと続けていきたいという気持ちが強いです。それと、都会からの人達にしなの鉄道乗っていただくためにはやはり新幹線を降りた所での接続ということが続けていかないとなかなか理解されないのではないかと感じております。

イ 軽井沢町さんと基本的には同じですが、元気なうちにカンフル剤をとという意味もあって軽井沢町、御代田町と一緒に取り組もうということでやっております。引き続き増便事業をやっていただけないかということで特に批評ありません。一つだけ先程の増便の表の中のことを聞いてもいいですか。資料2-1の一番右の接続時分等の増便前との接続差のところ、差のところの数字というのは何を表しているのかちょっと言葉をいただけたらありがたいなと思うのですがお願いします。

<事務局>

資料2-1の6ページと7ページの一番右端にございます、表題が「増便前との接続差」ということですが、この差というのは例えば、平成25年3月16日改正という部分の真ん中に接続ということで時間が書いてございます。これは「分」になるわけですが、例えば、752Mという列車の軽井沢着が6時15分、接続する新幹線の発車時刻が6時33分であるため接続時間は18分ということになります。今回の右側に書いてあるのはこの18分というのが増便前の接続時間と比較してどうかということになります。同じ朝一番の列車を見ますと、表の一番左、増便前の時には接続時間11分となっております。その差が7分ということで一番右の部分は7となっております。以下同じような形で書いてございまして、接続時間が長くなってしまったところ、逆に短くなったところもありますが、ダイヤ編成上どうしてもうまく接続ができないという部分もございます。同じように下り線を見ていただくと、上り線とは逆にうまく接続をして時間が短くなってきているということもございます。なるべく皆様に使いやすくなるようなダイヤ編成を組んでいるところではありますが、若干接続時間が伸びてしまっているところ、うまく接続できるようになった部分が出ているというようなこととございます。説明はこれでよろしいでしょうか。

ウ はい、ありがとうございます。

<議 長>

御代田町さんも同じ趣旨の意見ということでよろしいですか。

エ はい。

オ 今審議している項目で言っているのかよくわかりませんが、軽井沢町では今年の5月19日信毎マラソンを予定しております。現在7,000名位の参加で、全て締め切りを致しました。かなりしなの鉄道を利用される方も多と思いますし、東京方面からくる方も多と思います。それから10月26日、27日には東京のサンケイスポーツがやっていただける軽井沢リゾートマラソンがありまして、これも両日とも7,000名から8,000名位を集めたいと思ひまして、なにぶんにも軽井沢駅周辺は駐車場が少ないものですから、できればルールで来ていただければ一番ありがたい。特に長野方面からいらっしゃる方は信濃追分か中軽井沢あたりの駐車場に入れて、しなの鉄道に乗って軽井沢駅に来ていただけると非常にありがたいと思っておりますので、それだけ多くの人数を集めたいというふうに思っています。以上です。

<議 長>

最近ではマラソンやウォーキングなどが多く、かなり多くの方が参加されて、駐車場の問題や渋滞の問題などございますので、私どもとしては、できるだけパーク&ライドと言いますか、一定の所まで車で来るのは致し方ないけれども手前で是非車から列車に乗り換えていただいて目的地まで行っていただきたい。特に軽井沢の場合には夏場は恒常的にいつも大変な渋滞になりますので、毎年御代田や小諸など手前でできるだけパーク&ライドで乗りかえていただきたいと呼びかけをしております。そのための駐車場もできるだけ確保しなければいけないので、私どもとしては、大会のスムーズな進行や町の渋滞の解消という意味でも大変効果があるので、是非とも行政の皆様も含めて一緒になって進めたいと思っております。是非ご協力の程をよろしくお願い致します。

カ 私どものほうでも駐車場が足りないもので、是非よろしくお願ひしたいと思います。

キ 実証実験をせっかくやっていただけたということであれば、私どものほうでもPRには十分協力させていただきますので言っていただければと思っております。それが一つと、もう一つ、実証実験をせっかくやっているの、アンケート等お

お客様の声をよく聞いていただく必要があるだろうと、そういったところも宜しく  
お願い致します。私どものほうでもイベント等の情報は逐次お伝えをさせていただ  
きたいと思っておりますので、また、増便等の必要がある場合には対応させて  
いただければと思っております。近々には私どももオリンピック記念マラソンが  
4月にあります。そういったところは中心に宜しくお願いします。以上です。

### (3) 平成25年度予定事業の概要について

事務局から「資料3」を説明。

#### <議 長>

来年度の事業概要の案ということでございまして、今話をしましたようにこれ  
はあくまでも原案というようなものでございます。正式にはまた新年度に入って  
正式に提案をしたいと思いますが、そのためにも現時点においてご意見がござい  
ましたら是非とも出していただきたいと、できるだけそういったものを反映させ  
た事業計画にしたいというふうに思っておりますのでよろしくお願いを致します。  
どんな意見でも結構ですのでよろしくお願い致します。

#### (質疑・意見等)

ク 来年度の事業概要の中で企画列車の運行等でシルバー層をターゲットとした割  
引切符の販売ということで新たにお始めになるということのようですが、趣旨と  
して非常にいいことだなあとと思ひまして団塊の世代の方の退職期を迎えていかに  
鉄道会社として取り組むかということで重要な視点でございまして、現時点でど  
んなようなコンセプトでおやりになっているのかお聞かせいただければありがた  
いと思ひますが。

#### <事務局>

具体的にお示しできるものはありませんが、例えばシルバー層を対象にしたフ  
リー切符を発売したいというようなこともございます。そのようなものを参考に  
しながら多くのシルバー層の方に繰り返し乗っていただくような仕組みというも  
のを考えていきたいということで現在検討を行っております。

#### <議 長>

今説明があったように具体的な制度設計をしている訳ではありませんが、いず  
れにしても少子高齢化ということで全体として人口減少が進んでおりますが、そ  
の中で相対的に高齢者が増加していると、しかもその高齢者というのが昔のいわ  
ゆる年寄りという概念から外れた非常にアクティブで問題意識の高い、非常に好

奇心が旺盛であちこち動き回る。グランドジェネレーションとか言われておりますが、そういったことを突破口に是非新しい企画として取り込んでいくということが営業戦略上非常に大きな意味があるので是非ともこういったものが取り込める施策をしていきたい。よくあるのは高齢者パスといいまして、いわばフリーパスですが、一定年齢以上、例えば65歳、60歳、それ以上を対象にして乗り降り自由になるパス券を発券し、そこに色々なオプションをつけてインセンティブが働くようにする。あるいは先程ファンクラブ制度を少し変えてみたいという話があり、今、JRが「大人の休日倶楽部」で非常に成功していますが、これは安い会費で見返りが非常に大きいということがあり、なおかつ使えば使うほどメリットがある。うちのファンクラブもサポーターズクラブみたいな形にして、その中で高齢者を取り込んで若い人と若干差別化をして高齢者の方には割引率を大きくするようなことを場合によっては制度設計に入ってくるかもしれない。ただ、まだ正式に決まってないので、いずれにしてもそのシルバー層をターゲットにした施策を新年度は大胆に打ち出していきたい、そういう段階です。

ケ 今のお話の趣旨で非常にいいかと思いますが、「大人の休日倶楽部」との連携というのも一つでしょうし、独自の形もいいと思うのですが、単なるフリー切符で割引率だけ高いというような形ではなくて、何か団塊の世代の方が乗っていきそうな地域との連携、ウォーキングなのか史跡なのかよくわからないのですが、そういった面で是非一工夫をしていただければという気がしました。以上です。

#### < 議長 >

もちろんそういう配慮はするつもりで、先程オプションであるようなことを言いましたが、要するにどういう付加価値をそこに付けられるのか、今までのようにただ旗を振って、旗について行ってメジャーな観光地を見て回るということでは飽き足りない層が増えている。そういう方に楽しんでもらえるような企画をどうするのかということだと思っているので、それはまた十分工夫していきたいと考えております。

コ 私は年をとってきましてトイレが近いのですが、この前も直江津から長野まで来る間、本当に難儀をしたこともありますし、今日も長野からここまで、しなの鉄道さんに乗って来たわけですがけれども、これから年を取った方を乗せるとした時にトイレの問題というのは、重要な要素になるのではないかと、この頃高速バスもみんなトイレがついている形になっているわけですよ。インターに休んでするということがありますけれども間に合わない人もいますので、これは今すぐにどうこうという話ではないのですけれども、これはある意味では長野～妙高高原ですか、あと2年先の話としてあるわけでございますので、やはり年寄りに乗

ってもらおうとするとですね、この問題は避けて通れない話になるのではないかなと思っております。それから、この前並行在来線の九州の肥薩鉄道を見に行ってきましたけれども運転席が解放された状態になっていまして運転士さんと話ができるというのは語弊がありますけれども一番前の車両の所が鉄道マニアみたいな人は大変うれしい話になるかと思いますが、そんなこともやはりマニアを集めるというようなことでも大変効果があるのではないかなと思っておりますけれども、そんなことができるかどうかは、いや、あそこでは確かにやってみましたですね。そんなことで視察に行ったら私も視察のためにだけ臨時列車を走っていただいて川内から鹿児島だったと思いますがかなり小回りな運行をしているという思いもしましたので一応ご報告まで。

<議 長>

最初のトイレの問題ですが、このテーマは我が社が開業以来言われ続けていることをございまして、一貫してトイレを設置しておりませんが、いよいよ2年後に長野以北を妙高高原まで経営するということになりますと全長が100kmを超える経営区間になるわけですね。もちろんストレートに行くか行かないは別にして、いずれにしても寒冷地でもありますし、以北の関係者の方からは是非これを機会にトイレを設置してほしいという要望をいただいております。ただ、トイレの問題についてはですね、実は我が社の開業にあたってアンケートや実態調査などをしましたが、実体としては実際にトイレを利用される方は極めて少ないです。アンケートをとっても必要ないという方も圧倒的に実は多かったです。処理施設などの問題があつてトータルで判断して今までつけてないということなのですが、ただ、そう言いますと「いや、そういう問題じゃない」と、今高齢者の話もありましたけれども、要は安心感の問題なんですよ。実際使うか使わないかは別として、あること自体が大事だというようなお話もよく伺います。非常に悩ましいことですが、ただ一つの考え方として、列車の中にはないけれども駅には例えば立派なきれいなトイレがあると、本当に気持ちよく使えるトイレが各駅に整備されているということになると、トイレを駅で利用していただいて乗っていただく。逆にしなの鉄道の沿線の駅のトイレはもの凄いいということのを売りにするという戦略もないわけではないので、色々そういうものも考えていきたいと思っておりますが、当面は具体的なスケジュールにはなっていません。

サ あの、安心感なので。

<議 長>

私もそれはよくわかっております。よく声をお聞きしますので頭の中には入っております。それから後の話というのはちょっと信じられないのですがね、運転

する方の横にいるということは通常ありえないことなので。

シ いや、やっているんですから。もちろん止まった時ですけど、記念写真に運転士さん映っていますから。

<議 長>

そうですか。私も時々添乗といいまして、運転士の横に仕事で添乗することがありますが、一切声掛けはできませんし、運転に集中していただくという意味で、それが通常では考えられない気がしますが、実際にやっておられるということによってちょっと意外な感じがしました。いずれにしても色々な知恵を働かせて工夫をしていくことがこれからはとりわけ大事だと思います。肥薩おれんじ鉄道は今度新しい観光列車を走らせるんですよね。おれんじ食堂という地元の食材を活用して通常1時間かかるところを4時間かけてゆっくり走って十分堪能してもらおうというような新しい戦略を打って出るということになっていますので私どもとしてはむしろそういった戦略に今は注目をしているところです。

ス 今回の計画の中で駅舎の有効利用という話が毎年ですが、駅舎の有効利用の中で私どもが一番困っているのは駐車場です。その中にしなの鉄道のご協力の情報発信ステーションを設けてやっている。この間も地域の製品の発表をその場所で行った。テレビも大々的に宣伝してもらったおかげで相当お客様が来てくれた。しかし、駐車場が少ないもので、そうかといって行政に駐車場を作れと言ってもなかなか難しい。駅舎の有効利用ではないけれど駅舎の中で不要な箇所はなきにしてもあらずだと思う。先程言った有効活用はどんどん進めていただきたいというのが1つ。たまたまそういう中で私どもも屋代駅には市民ギャラリーという施設もありますので、そこを使って少しだけ単にうちのほうのウェルカムステーションだけで情報発信ではなく、ギャラリーの方も使って物産の展示だとかを大々的にやったりすることを計画しています。しなの鉄道さんも大変ですので自分のところではなかなか駐車場を整備することは難しいと思いますが、そんなことを是非お願いしたい。それから169系のイベントがこの日曜日に行われますよね。カメラを持った方が相当おしかけてきて非常に効果がある。あの169系をそのまま廃車にするのではなく是非動態保存なり、例えばうちの河東線が無くなった線路もまだありますのでそのような場所を有効活用していくことも考えていただきたい。これは私どもの連絡会の会議の中でも駅長さんに話していますが、そのようなことも是非考えていただいたらいかがでしょうか。それから最後に、私はいつもこの協議会で発足以来言っていますが、新幹線との最終接続の問題、これは別途私どもの要請から出ると思いますが、お忘れなく是非お願いしたい。以上です。



<議 長>

ありがとうございました。決して忘れておりませんので、頭の中には入っております。

最初の駐車場の話ですが、確かに私どもだけで用意できる駐車場は限られておりまして、その中で最大限提供はしているつもりですが限界はあります。そういう意味では色々なルートでスペースが確保できればと思っております。先日福井県のえちぜん鉄道さんがお見えになって色々お話を伺ったのですが、福井県の場合は沿線の市町村が無料の駐車場を提供してくれている。大変羨ましいとお話をしましたが、ご協力をもししていただけるのであればうちとしては有効活用できるのかなと思っております。いずれにしてもうちの努力だけでは限界がありますのでご協力いただけるところは是非ご協力いただいて、できればそういった対応をしたいと思っております。それから169系のお話ですが、基本的には4月末をもって廃車をしたいと思っております。ただ、169系という車両は全国的にみても非常に価値のある車両であるということで、それをそのまま解体するのは大変惜しい気がしておりますが、現状は特に具体的な話にはなっておりませんので、そういう要望があったということは受け止めておきたいと思っております。新幹線の関係のお話は忘れておりません。

セ 今回の駐車場の話ですが、うちの屋代駅だけではなく沿線にどこか置くところがあれば、そこに駐車して電車に乗ってきてもう。というのは結構屋代駅のウェルカムステーションはイベントをやると電車に乗ってくる方が結構多い。ちょっと話題となる品物が新聞などに出るとすぐ電車に乗って来てくれる方がいる。そういう意味ではそういうことをただ単に私どもの駅だけではなくて他の市町村の駅でも駐車場含めて連携していくとかなり新しいニーズが生まれるのではないかと思います。

<議 長>

25年度事業計画ということで特にここには具体的には書いてございませんが、先程もちょっと出ましたけれども、いよいよ2年後には長野以北の開業ということになるわけです。あと2年ということ考えると、少し遅いかもしれませんけれどもやはり以北開業を見据えた戦略というものを立てていかなければいけないと思っております。以北の問題というのは単にエリア的に以北だけの問題ではなくて、新幹線の延伸ということ考えると、こちらの方にも非常に影響の大きいテーマですので、是非こちらと以北と一体としてどういう戦略が打てるのか、そういう視点で早急に対応していきたいと思っております。そういった事を含めてご意見ございませんか。

ソ 先程24年度の実績、その後の25年度の予定事業の話。発展するというか進化した方向での事業が予定されていて大変いいことだと思うわけですが、なかなか正直申し上げまして、ここにも地域との連携で商店街や個別商業施設との連携というような表現は書けるのですが、具体的な内容でしなの鉄道の費用を増やすという、どこまで繋げられるか非常に気にはなるわけです。それで、しなの鉄道の場合、当然そもそも論みたいは話で申し訳ないのですが、生活路線として利用される方と観光路線として利用される方で両面の利便性の確保ということが必要だと思いますが、私も利用の仕方と言う言い方が良いのかわかりませんが、新幹線が延伸されてきた時に地方路線の魅力というものをどのように結びつけられるかということを今、二次交通のあり方を含めて非常に気にしているところであります。特に軽井沢までのしなの鉄道、千曲川の沿線に沿って、先程、北国街道という話もありましたけれども、そういう立地条件見たら是非新幹線の延伸につきましては、そういう視点でどういう位置に必要かどうか、あるいは先程ファンクラブ制度との連携になるのかわかりませんが、モニターツアー的なことで少し入れる力を準備する必要があると思いますし、一方では生活路線としてだいぶダイヤのところでも調整していただいて生活するうえで必要な措置をされていると思いますけれども生活路線であっても観光路線であってもリピーターがつかないと営業として成り立っていかないということもありますので、そういうことで考えた時に特に私ども商工団体や経済団体としての地域鉄道と言いますか、地域の足としてのしなの鉄道のあり方というのは非常にあらゆる面で常に地域の発展に大きく関わっているという重要なポイントとなっていると思います。こうしたらどうかとかはこの場で言いませんけれども基本的には先程新幹線のお話がありましたけれどもあと2年後に近づいてきておりますし、特に観光的な意味で皆様それぞれの地区で考えられるハブ化構想みたいなものも二次交通が非常に大きなポイントになるということだけは間違いありませんので今年の予定事業の協力もいけれどそれらを意識した施策も入れていただきたいと。それが先程言ったモニターツアーがそれにあたるかわかりませんがお話を聞くと北陸の方々には長野県の魅力としてやはり自然が多いということですのでけれども、別の形の自然を求めて軽井沢あるいは千曲川というビッグネームの観光要素をこちらへ来る時の1つのポイントにして話をよく聞かれますので、そういう意見を大事にして事業計画の中に是非加えて考えていっていただきたいと思います。

<議 長>

ありがとうございました。大変参考になりましたので是非この計画の中に反映させていただきたいと思います。今のお話にもあったようにしなの鉄道というのは、いわゆる生活路線的部分と観光路線としての部分の調和が非常にとれている。ですから基本的な戦略としては生活路線としての利便性をできるだけ向上し

ていくということと同時に、こちらに来られる方をどうやって楽しくうちの路線を利用していただくのかということだと思っています。新幹線が延伸しますと通過であるとか色々言われておりますが、逆に向こうからくる場合もあるわけですし、長野に降りた方あるいは上田で降りた方、それから軽井沢で降りた方をどうやってうちの線区に流導化させるかということがこれからの最大のテーマですので、是非地域の皆様の知恵をお借りして対応を探っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

タ 今、並行在来線のお話が出た関係で漠然とした言い方になるかもしれませんが、私ども管内北陸新幹線の金沢延伸に伴いまして新潟県、長野県、富山県、石川県、並行在来線でJRから線を引き継ぐという事態になっております。この並行在来線をどう成功させるかという観点におきましては、やはり既存のJR線の経営よりもこういうところが良くなったということが少しでも出てくればいいのかなと思っております。やはりどうしても経営を分離されて基本的に厳しい経営を余儀なくされるというのは致し方ないところではございますが、経営自体が各三セク会社ということで地元沿線の声を聞きやすい、また、地元の自治体様の声を聞きやすい、非常にJRさんにとってはちょっと言いにくい言い方なのですが小回りのきく経営関係だと思っておりますので、そういった意味での利用促進とかダイヤの改正とか、そういったところでこれまで以上に利便性の高い経営というものを期待される場所ですし、それによって地域の皆様が少しでも経営に対する計画を納得していただけるような関係になるのではないかと思っております。

<議 長>

ありがとうございました。大変参考になりました。

(4) 平成25年度しなの鉄道生活交通改善事業計画について  
事務局から「資料4」を説明。

<議 長>

この点についてご意見、ご質問等ございますか。

(質疑・意見等)

チ 資料13ページの④の一番上でございますが、50Nレールの同種交換ということで、450mと記載してございますが、全線をみた場合に11ページの④の文章との書き取りを見ると損傷が結構あるような印象を受けるのですが、全体的にみるとどうなのでしょう。今回は450m位ということですが。

<事務局>

全線全般的に古くなってきているというのが状況です。これが同じ時期に設置されましたので一気に替えるとなると多額の費用がかかるという状況もございますので、それを計画的に実施していきたいと考えております。来年度につきましては小諸・滋野間ということで考えておりますが、それを引き続き更に古い部分につきましては実施していきたいと考えております。資料の16ページをご覧くださいのですが、ここに5か年間の計画を今のところ考えている部分ですが、こちらの中で上から2段目に50Nレール同種交換ということで来年度は小諸・滋野間ということで考えております。来年度以降につきましても老朽化が進んでいる箇所を優先して計画的にやっていきたいと考えております。

<議長>

この内容で今後申請をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。本日予定をした議題は以上でございます。長時間、本当にありがとうございました。以上で協議会を閉会したいと思います。ご苦労さまでございました。

4 閉 会

以 上